

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

Information

介護支援スタッフ、
生活支援スタッフ募集中!

未経験者
歓迎

詳しくはホームページ、または下記宛お問い合わせ下さい。

✉ saiyou@n-ikuseien.jp ☎ 0595-65-0271 (担当:西浦・川出)



vol.112
2021.4.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:宮田義則 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

それぞれの地域で入居者に寄り添う ワーカーどうしの絆となる「壁新聞」

地域に根差すグループホーム。伊賀圏域で16ホームを運営する「くらしサポートゆっくる」では、このコロナ禍の中、今まで以上の気配りで入居者に寄り添うワーカーの皆さんを励まそうと、職員向けの壁新聞を発行しました。ワーカー一人ひとりの「人となり」をまとめた紙面は、地域の前線に立つ者どうしの絆となっています。

1991年(平成3年)、県の先駆けとして障害者のグループホームを開設して以来、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け貢献してきたワーカーの皆さん。現在くらしサポートゆっくるでは、約80名の職員が16ホームある地域の前線で、それぞれ入居者の暮らしに寄り添っています。

基本的に各ホームとも交代制の一人支援のため、担当ホーム以外のワーカー同士が顔を合わせる機会は貴重でした。地域での交流会はもちろん、事業所あげての諸行事でワーカー同士もふれあい、懇親を図る中で思いを語ったり理念を共有したりと、やりがいにも繋がっていました。

しかし、昨年からのコロナ禍で状況は一変、感染症対策のために地域や事業所の諸行事は中止となり、3つに分かれているグループのミーティングでも、入居者皆さんの感染症対策やメンタルヘルス、また体力維持といった火急の課題解決に全力を尽くすため、以前のように担当の枠組みを超えた、懇親の場が激減しました。

そのような中、このような時だからこそコミュニケーションが必要と、広報委員がワーカー一人ひとりの「人となり」を繋ぐ事業所内広報紙の制作を思い立ち、慣れない編集作業で昨年12月に「ゆっくるだより」を発行したところ、これが事業所内で大反響。ネット活用が大勢を占めている時代にあって、あえてアナログな媒体を用い、人となりにフォーカスした紙面は「お互い会えなくても顔が見える」「温もりが伝わる」として、それぞれの地域で前線に立つ者どうしの『絆』となっています。



第2号

3月下旬に発行した「ゆっくるだより」第2号のインタビューは、定年退職後14年間ワーカーとして勤務したNさん。今年74歳になるNさんはこの3月でゆっくるを「卒業」し、地域で第二の老後を過ごされるという。そんなNさんの記事は、感謝の気持ちを始め万感の思いが込められていました。



「地域にご理解いただく情報発信も大切だけど、『人』は名張育成会の財産。この貴重な体験談を繋いでいくことも大切な役割だと、インタビューを通じて気づきました。」と広報委員で、ゆっくるだより編集長のOさん。

「入居者にとっては生活の場。ボクらが仕事やと思って接していたら、彼らは気持ちも休まらないの違う?ここは『家』やねん。僕たちは『家族』やねん!」
思いをすべて伝えたい!とNさんにも熱が込められます。



気を張らずに、頑張りすぎないことやで。
『家』やねんから!



名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAIレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAIレポート 検索

名張市地域活動支援センターひびき

ケーブルテレビの収録!



名張市障害福祉室より「共生社会をテーマにした啓発番組」の出演依頼を受け、ピアサポーター3名に出演いただきました。

出演者で話す内容を決め準備していた収録日、いつもはたわいもない話をして楽しそうな3人なのに、撮影に入るまでの間終始無言で、とても緊張しているようでした。ところが撮影に入ると、話をしている人の方を向いてカメラを気にしないとか、「ミスしても大丈夫ですよ、撮り直しは可能ですから」と声をかけていただき、少しは安心できたようで順調に撮影終了。3人とも、ちゃんと話ができたと、撮影後の表情はスッキリしていました。

少しでも啓発のお役に立てたかな!お疲れ様でした。

特別養護老人ホームグランツァ

自分らしい生活のために ~特養で働く専門職 (ケアマネ編)~



この笑顔に癒されています。

特別養護老人ホームには、介護士以外にも多くの職種の職員が働いています。介護支援専門員(ケアマネ)もその一人。「その人らしい自立した生活」が実現できるような施設サービス計画の作成につとめ、24時間365日継続したサービスが一貫して安定的に提供できるよう、チームアプローチで取り組んでいます(*^▽^*)

多職種との連携を欠かさず、入居者さまのご様子や何うお話から、提供しているサービスにご満足いただいているかを確認しています。

笑顔でお過ごしいただいていると安心します(´▽`)

こどもライフサポートセンター〈はーと〉

食べるって良いですね

知的障害児の入所・短期入所・日中一時支援を行っているはーとでは、コロナ禍で外出を控えている子ども達に、せめてテイクアウトで外食を楽しもうと、「第一回はーと・ぽぶら外食テイクアウト」という企画を立てました。

その気になる、人気ランキング(≧▽≦)

- ★第三位★ケンタッキーフライドチキン…太いポテトフライが好き!
 - ★第二位★本家かまどや…ミックスグリル弁当と丼ものが人気!☆
 - ★第一位★マクドナルド…ハンバーガーもフライドポテトもみんな大好き(^^)
- 大きいドリンクカップにストローを挿して両手で飲むのも楽しいですね(^^)/
さあ、次はデカ盛り大会を企画します!!



(表面より)



壁新聞は、A4で4面。そのうち2面は、ワーカーの皆さんから届けられる「投稿コーナー」。実はこれがちょっとした人気で、人となりの再発見や、コミュニケーションに一役買っています。

- 「Q1. あなたの趣味・自慢を教えてください!」
- 「Q2. あなたの前職を教えてください!」
- 「Q3. 思い出の旅行を教えてください!」
- 「Q4. 最近、読書していますか?」
- 「Q5. あなたの愛車紹介しませんか?」

また、「俳句・川柳・短歌」コーナーにも投稿が寄せられ、一度の紙面に掲載できないほどに。「これだけ寄せられるとは思いませんでした!」と編集長のOさん。今は隔月の発行ですが、投稿だけの臨時号が発行?!…絆の深まりとともに実現する日が近いかもしれませんね!



取材:広報委員会

虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271